

令和6年度事業報告

1 警備業務の適正化に関する指導及び調査研究

(1) 警備業務の適正化

ア 「警備業における適正取引等に向けた自主行動計画」の周知

適正料金から得られるものを原資とし、警備員の給与・処遇の改善や、警備業務に関わるDX化の推進、更にはICT化等の生産性向上のための設備投資を行い、雇用環境の整備に努め、採用や定着化の取組を推進するという好循環により、経営基盤は盤石になり、エッセンシャルワーカーたる警備業の社会的地位が向上するとともに、良質な警備業務を提供することにより持続的な社会の安全安心に寄与することが可能となることを目的として、平成30年3月に制定された（一社）全国警備業協会（以下「全警協」という。）策定の「警備業における適正取引等に向けた自主行動計画」は令和6年8月、6回目の改訂を行ったが、この自主行動計画の周知・実践のほか、経済産業省が実施した「価格交渉促進月間（令和6年9月）」や「フォローアップ調査」への積極的な参画・協力を行った。

イ 警備業の適切な価格転嫁の実現に向けた取組

令和5年11月に内閣官房・公正取引委員会が公表した「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」を踏まえ、令和6年5月及び9月に（一社）愛知県建設業協会など6団体に対して、全警協が作成した「警備業における適切な価格転嫁取引の実現に向けて」リーフレットを直接持参し、協力を求めたほか、公共事業に関して愛知県及び県内各市町村へ同リーフレットを配付するなど、業界団体として発注者である業界の団体・地方公共団体等に対し、適正な価格での警備業務の実施につき、理解と協力を得る取組みを実施した。

また、9月27日（金）、警備業経営者研修会において全警協総務部次長小澤祥一郎氏を講師に、「適切な価格転嫁の実現に向けて」と題した講演を開催するとともに、10月25日（金）、鈴木壽美業務委員長を講師に16社16名が参加し、労務単価研究会を開催、業界内での価格転嫁実現への取組みの浸透を図った。

ウ その他

職域における暴力団排除活動を効果的に継続するため、9月30日(月)「暴力団等反社会的勢力排除対策協議会役員総会」を開催するなど、暴力団等反社会的勢力排除機運の更なる醸成と情報共有に努めた。

(2) 専門委員会、部会、支部活動の強化

ア 専門委員会の活動

各委員会を以下のとおり開催し、所掌事項に関し、専門的な調査審議を行い、本会事業の円滑な運営に寄与した。

(ア) 総務委員会

- ・開催日 令和6年4月15日(月)
議題「令和5年度事業報告・収支決算報告」等について
- ・開催日 令和6年8月(書面開催)
議題「(一社)愛知県警備業協会会員証の作成」について
- ・開催日 令和7年3月10日(月)
議題「令和7年度事業計画(案)・収支予算(案)」等について

(イ) 広報委員会

- ・開催日 令和6年8月(書面開催)
議題「セキュリティアイチ vol.62(8月号)」の発刊について
- ・開催日 令和7年1月(書面開催)
議題「セキュリティアイチ vol.63(1月号)」の発刊について

(ウ) 教育委員会

- ・開催日 令和7年2月3日(月)
議題「令和6年度特別講習・警備員指導教育責任者講習・法定教育の実施状況、令和7年度特別講習・法定教育等の実施計画」等について

(エ) 労務委員会

- ・開催日 令和6年5月22日(水)
議題「令和6年度労働安全研修会の開催」等について

(オ) 業務委員会

- ・開催日 令和6年9月13日(金)
議題「令和6年度労務単価研修会の開催」等について

(カ) 災害対策等委員会

・開催日 令和6年11月25日(月)

議題「令和7年度出動予定警備員の報告及び災害支援協力隊員の入れ替え」等について

イ 青年部会

(ア) 令和6年度通常総会

開催日 令和6年6月17日(月)

議題「役員改選」、「令和5年度の事業報告・収支決算報告、令和6年度の事業計画(案)・収支予算(案)」等について

(イ) 青年部会3県合同研修会

開催日 令和6年11月27日(水)

岐阜県・三重県・愛知県の警備業協会青年部会が共催し、(公社)全日本トラック協会青年部会を設立、初代青年部会長として活動した(株)商運サービス代表 佐久間恒好氏を講師に「青年経営者の役割と期待」と題して講演会を開催した。

(ウ) 名古屋市内養護施設への寄贈活動

令和7年1月30日(木)、早川宏紀部会長等が名古屋市役所において、名古屋市内の児童養護施設13か所にアルミブランケットや圧縮タオル等が入った防災グッズを寄贈するとともに、名古屋市民間社会的養育施設長会に10万円を寄付した。

(エ) 全警協「全国青年部会長等会議」への出席

令和7年3月4日(火)、東京都内で開催された「全国青年部会長等会議」に早川宏紀部会長等が出席、東京都・高知県・鹿児島県の各青年部会活動報告、警視庁担当官による「不当要求に屈しないために」と題する講演、意見交換会における情報交換等有意義な会議となった。

ウ 各支部の活動

令和6年4月24日(水)から同月26日(金)までの間に各支部において、研修会及び総会が開催された。各研修会においては、愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課警備業係担当官から「警備業における当面の諸問題」について講義を受けた。

この他、年間を通じて役員会・勉強会を開催するなど、会員相互間の情報交換・親睦等のため積極的な活動を展開した。

また、支部内を管轄する警察署の協力を得て、交通誘導警備業務実施現場における各種法令の遵守、警備技術の習熟、労働環境等の状況を確認する安全パトロールを計7回実施し、交通誘導警備業務の適正な実施に寄与した。

(3) 経営者及び労働安全の研修会開催

ア 令和6年度労働安全研修会

開催日 令和6年7月2日(火)

開催場所 名古屋市東文化小劇場

参加者 113社124名

内 容

- ・講演1「論理的な安全衛生管理 ～危なさと向き合おう～」
愛知労働局労働基準部安全課安全専門官 桜木 勉 氏
- ・講演2「警備業の実態と業務中の受傷事故の防止」
愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課 小澤 忍 氏

イ 令和6年度警備業経営者研修会

開催日 令和6年9月27日(金)

開催場所 名古屋市東文化小劇場

参加者 99社107名

内 容

- ・講演1「ロシアのウクライナ侵攻、パレスチナ問題と日本の安全保障」
元駐ウクライナ特命全権大使 角 茂樹 氏
- ・講演2「警備業における適切な価格転嫁の実現に向けて」
(一社)全国警備業協会総務部次長 小澤 祥一朗 氏
- ・講演3「県内における警備業務の現状」
愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課
後藤 守孝 氏

(4) SDGs(持続可能な開発目標)達成に向けた取組みの継続推進

ア 警備員の知識及び能力の向上

今年度から、事前講習に加え、特別講習合格率向上のため、全ての特別講習において学科対策に特化した直前セミナーを実施することとした。

また、警備員指導教育責任者講習合格率向上のため、令和6年5月14日、

警察本部警備業担当官を講師として招聘し、綿密な講師打合せ会議を実施するとともに、選任指導教育責任者等に対するレベルアップセミナーを2回開催するなど警備員指導教育責任者の資質向上への取組を強化した。

イ 警備員の処遇の向上

警備員の賃上げ等を含め、警備業における適切な価格転嫁実現に向けた関係団体等への働きかけを行ったほか、適正な労務単価に向けた業務委員会の開催や労災事故防止のための労働安全研修会を実施した。

ウ 総合的かつ効果的な災害支援活動

災害支援協力隊の活動を効果的に運用できるよう保存水・保存食の計画的配備のほか装備品等の整備充実を進めた。

なお、参加を予定していた愛知県・阿久比町総合防災訓練及び愛知県警察災害警備訓練は台風接近に伴う天候不良で中止となった。

エ 安心して暮らせる安全な社会の実現

令和6年3月に愛知県警察との間で締結した「安全・安心なまちづくりの推進に関する協定」に基づき、連続発生したひったくり被害防止の活動を行うとともに、犯罪防止啓発物品の寄贈、特殊詐欺捜査協力報奨金制度への継続参画、愛知県が行う各季安全なまちづくり県民運動への参加、無事故・無違反チャレンジ・ファイナル100日ラリーの実施等、安心安全な社会実現のための取組を推進した。

オ 地球環境にやさしい活動

再生紙の100パーセント利用及び裏面再利用などのほか、会議時の紙パック飲料への変更によるペットボトル利用の削減を進め、環境にやさしい取組を推進した。

(5) 労働災害の防止

労働安全研修会を開催したほか、交通誘導警備業務中における労災事故の防止を目的とした各支部における安全パトロールへの同行、全国で発生した重大労災事故事例の協会ホームページを通じた周知、更には機関誌「セキュリティアイチ」での特集掲載等労災事故防止への取組を強化した。

加えて、愛知労働局が提唱する「安全経営あいち」への会員業者の参画を支援するため、労働安全研修会のカリキュラムに愛知労働局担当官の講話を盛り込み、出席会員企業の賛同事業所への登録を支援した。

労災事故の一つである交通事故については、その防止及び交通安全意識の向上を目的に令和6年度も「無事故・無違反チャレンジ・ファイナル100日ラリー」を企画し、18チームが参加、12チームが目標を達成した。

また、労働災害防止啓発活動の一環として全警協が実施する労災事故防止などのアイデア・ポスターの募集には、アイデア70点、ポスター8点の応募があり、優秀作品各3点を全警協に送付した。

なお、全国から応募のあった作品については全警協での審査の後、優秀作品について令和7年度全国安全衛生大会において表彰の予定である。

(6) 調査への協力

全警協、関係省庁等が行う警備業務適正化のための「自主行動計画」に関する調査研究や警備業の実態調査等に積極的に協力した。

2 教育センターにおける各種教育、講習など教育事業の適正な推進

(1) 多様なニーズに応える教育事業の推進

会員からの多様なニーズに応え、法定教育の土曜日・休日開催、出張開催等を実施するとともに、全警協eラーニングの普及促進に努めた。

- ・ 第1回「警備員指導教育責任者レベルアップセミナー」
4月19日（金）、35名参加
- ・ 第2回「警備員指導教育責任者レベルアップセミナー」
11月18日（月）、27名参加
- ・ 法定（新任・現任）警備員教育の土・日・祝日開催
計11回（12日間）開催、受講者延べ570名
内訳） 新任教育2回 延べ111名、現任教育9回 延べ459名
- ・ 法定警備員出張教育
計2回開催 計74名
- ・ 直前セミナーを全ての特別講習で実施
これまで、交通誘導警備業務2級のみであったが、令和6年度から全ての特別講習で実施したところ、延べ422名が受講した。

(2) 法定教育の充実強化

法定警備員教育には、

延6,244名（うち非会員300名）（前年度対比－313名）

が受講し、その内訳は、

新任警備員教育（業務別教育を含む）延 2,595 名（同比－288 名）

現任警備員教育 延 3,649 名（同比－25 名）

であった。

区 分	会 員	非 会 員	計	対前年比
新任警備員教育	2,457 名	138 名	2,595 名	-288 名
	2,754 名	129 名	2,883 名	342 名
現任警備員教育	3,487 名	162 名	3,649 名	-25 名
	(74 名)	(0 名)	(74 名)	(-18 名)
(内出張教育)	3,466 名	208 名	3,674 名	-75 名
	(92 名)	(0 名)	(92 名)	(13 名)
計	5,944 名	300 名	6,244 名	-313 名
	6,220 名	337 名	6,557 名	267 名

※ 下段は前年度、新任警備員教育は延べ人員である

また、全警協が提供している e ラーニングの I D 契約件数については、年度末現在 16 社 206 件である。

（3）特別講習の充実強化

（一社）警備員特別講習事業センターからの委託事業である特別講習の実施状況は、

- ・ 施設警備業務 1 級～ 1 回
受講者 61 名 合格者 52 名 合格率 85.2%
- ・ 施設警備業務 2 級～ 4 回
受講者 249 名（うち再受講 7 名）合格者 205 名（うち再受講 5 名）
合格率 82.3%
- ・ 交通誘導警備業務 2 級～ 6 回
受講者 381 名（うち再受講 25 名）合格者 248 名（うち再受講 7 名）
合格率 65.1%
- ・ 雑踏警備業務 2 級～ 3 回
受講者 191 名（うち再受講 10 名）合格者 163 名（うち再受講 7 名）
合格率 85.3%

- ・ 貴重品運搬警備業務 2 級～ 1 回

受講者 65 名 合格者 49 名 合格率 75.4%

であった。

全受講者 947 名（うち再受講 42 名）中、合格者 717 名（うち再受講 19 名）、合格率 75.7%であった。

全受講者の合格率は昨年度と比較し、6.1 ポイント上昇という好結果のなか、昨年度に引き続き、交通誘導警備業務 2 級合格率は 65.1%とやや低調であった。

種 別	実施回数	受 講 者	合 格 者	合 格 率
施 設 警 備 業 務 1 級	1	61 名	52 名	85.2%
	—	—	—	—
雑 踏 警 備 業 務 1 級	—	—	—	—
	1	69 名	55 名	79.7%
貴 重 品 運 搬 警 備 業 務 1 級	—	—	—	—
	—	—	—	—
施 設 警 備 業 務 2 級	4	249 名	205 名	82.3%
	4	268 名	204 名	76.1%
交 通 誘 導 警 備 業 務 2 級	6	381 名	248 名	65.1%
	8	546 名	338 名	61.9%
雑 踏 警 備 業 務 2 級	3	191 名	163 名	85.3%
	3	188 名	147 名	78.2%
貴 重 品 運 搬 警 備 業 務 2 級	1	65 名	49 名	75.4%
	1	64 名	46 名	71.9%
合 計	15	947 名	717 名	75.7%
	17	1,135 名	790 名	69.6%

※ 下段は前年度

(4) 警備員指導教育責任者等の講習会及び研修会の開催

ア 警備員指導教育責任者講習

愛知県警察本部からの委託事業である警備員指導教責任者講習の実施状況は、

- ・ 新規
 - 1号業務 3回 受験者 112名 合格者 81名 (合格率 72.3%)
 - 2号業務 4回 受験者 140名 合格者 67名 (合格率 47.9%)
 - 3号業務 1回 受験者 16名 合格者 13名 (合格率 81.3%)
 - 4号業務 1回 受験者 2名 合格者 2名 (合格率 100.0%)
- ・ 追加
 - 1号業務 1回 受験者 16名 合格者 13名 (合格率 81.3%)
 - 2号業務 1回 受験者 18名 合格者 12名 (合格率 66.7%)
 - 3号業務 1回 受験者 1名 合格者 1名 (合格率 100.0%)
 - 4号業務 1回 受験者 7名 合格者 7名 (合格率 100.0%)
- ・ 現任
 - 1号業務 5回 受講者 186名
 - 2号業務 4回 受講者 146名
 - 3号業務 2回 受講者 37名
 - 4号業務 2回 受講者 90名

であった。

平均合格率は、新規で 60.4%、追加 78.6%であった。2号業務の合格率が未だ低調であるものの、前年度対比で新規 14.9ポイント、追加 1.7ポイント平均合格率は向上した。

種 別	回数	受講者	受験者	合格者	合格率
新 規 取 得 講 習	9	271名	270名	163名	60.4%
	11	305名	301名	137名	45.5%
追 加 講 習	4	43名	42名	33名	78.6%
	3	26名	26名	20名	76.9%
現 任 講 習	13	459名			
	17	480名			
機械警備業務管理者講習	1	15名	15名	8名	53.3%
		-	-	-	-
合 計	27	788名	327名	204名	62.4%
	31	811名	327名	157名	48.0%

※ 下段は前年度、受験者等については現任講習を除く

イ 警備員指導教育責任者研修会の開催

開催日 令和6年8月29日(木)

開催場所 ウィルあいち 大ホール

参加者 選任警備員指導教育責任者等 236社、282名

内容

- ・ 講演1「警備業界のデジタル化の動向について」
(一社)全国警備業協会 研修センター次長 山本 正彦 氏
- ・ 賛助会員による警備員新作制服ファッションショー、装備品紹介
ガードくん団体総合保険などの紹介
- ・ 講演2「警備員指導教育責任者の責務」
愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課 小澤 忍 氏

(5) 機械警備業務管理者研修会の開催

開催日 令和6年11月21日(木)

開催場所 当協会研修室

参加者 機械警備業務管理者及び同資格者 20社26名

内容

- ・ 講演1「基地局からの指令要領」
中京総合警備保障(株)機械警送警備部 水谷 幸子 氏
- ・ 講演2「迅速的確な指令業務について～誤報の防止」
愛知県警察本部地域部通信指令課 丹羽 孝之 氏
- ・ 講演3「適正な機械警備業務の実施」
愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課 渡邊 晋也 氏

(6) 警備業に関する各種講習等への講師派遣

ア 講師体制(令和6年4月1日現在)

- ・ 警備員指導教育責任者講習講師 44名
- ・ 機械警備業務管理者講習講師 12名
- ・ 特別講習講師 47名

イ 各種講習等への講師派遣

- ・ 警備員指導教育責任者講習等
新規取得、追加、現任及び機械警備業務管理者

計 28 回 派遣講師 211 名

・特別講習

計 15 回 派遣講師 183 名

・公安委員会直接検定

派遣なし

・県外派遣

4 回 派遣講師 11 名

(7) 講師の資質向上と若手講師の育成

ア 中部地区特別講習担当者研修

開催日 令和 6 年 12 月 12 日 (木)

開催場所 ガーデンホテル金沢 (石川県金沢市) 会議室

参加者 中部 6 県警備業協会専務理事・特別講習事務担当者・主任講師、全警協常務理事以下担当者、(一社) 警備員特別講習事業センター担当者・考査員等 27 名

内容

- ・挨拶 (一社) 石川県警備業協会会長 上田 紘詩
(一社) 全国警備業協会常務理事 楯 悦男

・全体検討

受講者の募集方法について
特別講習会場の選定について
特別講習の実施時期について
事前講習の運用について
講師のリクルートについて
講師の所属企業との関係性について
講習運用上の問題について

・担当別検討

当面の諸問題について

・情報共有事項

警察庁へ提出した要望書への対応と変更事項等について
デジタル化講習への進捗状況について

イ 講師合同研修会の開催

開催日 令和7年3月13日(木)

開催場所 グローオリエンタル名古屋「ザ・グローレジデンス」

参加者 法定教育、警備員指導教育責任者講習及び特別講習講師
計43名

内容

- ・令和6年度各種教育事業の進捗状況及び令和7年度の推進計画
- ・講話「警備業担当者からみた各種教育事業等について」

愛知県警察本部生活安全部生活安全総務課 小澤 忍 氏

ウ 若手講師の育成

本年度新たに交通誘導警備業務2級特別講習講師、施設警備業務2級特別講習講師の資格取得者各1名が特別講習講師として委嘱を受けるなど若手育成を図った。

(8) 第97回セキュリティプランナー講習

令和6年9月27日(金)から9月29日(日)の3日間、全警協が開催したみだしの講習について開催地事務局として業務にあたった。

3 会議の開催

(1) 定時総会

開催日 令和6年6月4日(火)

開催場所 名古屋市中区錦一丁目19番30号
名古屋観光ホテル「那古の間」

出席状況 391社(うち書面決議216社、委任状50社)

(2) 理事会

第1回 令和6年4月23日(火)～第一富士ビル3階第一会議室

第2回 令和6年9月30日(月)～協会研修室

第3回 令和6年12月10日(火)～第一富士ビル3階第一会議室

第4回 令和7年3月19日(水)～協会研修室

(3) 会長・副会長会議

第1回 令和6年4月19日(金)～第一富士ビル3階第二会議室

第2回 令和6年9月24日(火)～協会研修室

第3回 令和6年12月4日(水)～第一富士ビル3階第二会議室

第4回 令和7年3月13日(木)～協会研修室

4 広報啓発活動の積極的推進

(1) 人手不足解消、業界の知名度アップに資する広報啓発

ア ハローワークとの連携による人材不足解消に向けた広報啓発

県内ハローワークと連携して、業界別セミナー等に積極的に参画し、警備員の業務に興味のある求職者に対して、警備業務や業界の魅力などを広報した。

4月 1回(名古屋南)、5月 2回(名古屋中・一宮)

7月 2回(豊橋・名古屋南)、8月 1回(名古屋中)

9月 4回(犬山・名古屋中2回・名古屋東)、10月 1回(名古屋南)

11月 2回(名古屋中、名古屋南)、12月 1回(名古屋南)

1月 1回(名古屋南)、2月 2回(犬山、名古屋南)

合計 17回

イ 愛知県「中小企業人材確保支援事業」への協力

当該事業を協会ホームページで会員会社等に広く紹介し、参加企業の募集等で事業協力を行った。

ウ 「あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」への継続参画

引き続き、「あいち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」に参画し、就職氷河期世代の就職、正社員化や社会参加の実現などに取り組んだ。

(2) 協会、業界への理解を深める広報啓発

ア 協会ホームページの充実

令和6年4月1日からリニューアルしたホームページを運用し、各種事業や有益な情報をタイムリーに発信するとともに、法定教育の申込をはじめ研修会等の申込などデジタル化への充実を図った。また、親しみやすいホームページとするため、ブログを開設した。

イ 愛知県警察と連携した広報啓発活動

令和6年6月12日(水)、同年3月に愛知県警察本部と締結した「安全・安心なまちづくりの推進に関する協定」に基づき、愛知県中警察署において協会会員会社10社12台24名の防犯パトロール用社用車が集結し、防犯パトロール出発式を開催するとともに、名古屋市内を中心とした地域の

犯罪抑止活動を行った。

ウ 機関誌、広報紙の発行

(ア) 機関誌「セキュリティアイチ vol.62 (8月号)」の発刊

令和6年度定時総会開催結果のほか、特集では「加盟会社における労働災害事故の発生状況」、「愛知県警察と『安全・安心なまちづくりの推進に関する協定』の締結について」を掲載、労災事故防止に向けた意識の醸成や安全・安心のまちづくりの推進に向けた具体的な取組などを盛り込むなど、会員の皆様にとって有益な情報の提供を図った。

(イ) 機関誌「セキュリティアイチ vol.63 (1月号)」の発刊

協会長、愛知県警察本部生活安全部長、愛知労働局長の年頭挨拶、新年交礼会開催結果のほか、特集では「重大労災事故が頻発しています～現場警備員の命守れますか」「不当要求防止責任者を選任してください」を掲載、警備員の労災事故防止対策や反社会的勢力から会社や社員を守るための対策について情報提供を図った。

5 警備業に関する功労者等の表彰

(1) (一社) 全国警備業協会定時総会 (令和6年6月5日)

ア 警察庁長官・(一社) 全国警備業協会会長連名表彰

加戸 亮脩 (株)コスモ 代表取締役会長

イ (一社) 全国警備業協会会長表彰

・警備業功労者

馬場 善志雄 東海警備保障(株) 代表取締役

・警備業教育関係等功労者

尾前 満広 中部相互警備保障(株) 教養本部研修センター長

ウ 令和6年1月1日発生能登半島地震被災地における治安維持活動への貢献

団体 (一社) 愛知県警備業協会

個人 渡邊 隆 中部相互警備保障(株) 取締役 以下6名

(2) 第26回警備業全国安全衛生大会 (令和6年7月3日)

令和5年度「労働安全衛生・労働災害防止」に関する優秀作品

論文の部 中村 良成 (株)アイシン・コラボ

(3) 令和6年度「警備の日」全国大会（令和6年11月11日）

人命救助功勞に対する表彰

平野 守 (株)コアズ

坂本 篤則、池田 詔之 中部相互警備保障(株)

(4) 令和6年度安全優良職長厚生労働大臣顕彰（令和7年1月10日）

村松 裕二 総合警備保障(株)岡崎支社

(5) 令和6年度定時総会（令和6年6月4日）

ア 愛知県警察本部長・(一社)愛知県警備業協会会長連名表彰

・ 団体の部

セコム(株)中部本部

総合警備保障(株)第三地域本部

(株)アサヒセキュリティ中部本部

・ 個人の部

藤田 隆志 中部相互警備保障(株) 代表取締役社長

加藤 大介 CHUSO TECHNO SERVICE(株) 代表取締役社長

花井 宏行 (株)サンセイコーポレーション 代表取締役

・ 教育功勞の部

藤木 厚成 (株)シーマ・ガード 代表取締役

進藤 直樹 東海警備保障(株)

伊藤 拓哉 東海総合警備保障(株) 代表取締役

イ (一社)愛知県警備業協会会長表彰

・ 優良警備員

飯田 勸 (株)ガード・リサーチ 以下102名

・ 令和5年度労働災害防止に関する論文・ポスター・標語優秀作品

論文の部 一柳 和義 東邦ガス不動産開発(株) 以下3名

ポスターの部 海老 原太郎 (株)メイアン 以下3名

標語の部 小林 史和 (株)セイビ名古屋支店 以下3名

・ 無事故・無違反チャレンジ・ファイナル100日ラリー達成チーム

(株)アイシン・コラボ (チームAT本社警備) 以下12チーム

(6) 犯人逮捕・人命救助等による表彰

・ 暴力行為等処罰法による犯人逮捕

- 平野 守 (株)コアズ
- ・人命救助
 - 坂本 篤則、池田 詔之、大洲 守生 中部相互警備保障(株)
- ・特殊詐欺被害未然防止
 - 柳澤 利夫 (株)ティーファスパートナーズ

6 警備業に関する相談及び苦情の処理

令和6年度中、各種届出要領や備付簿冊整理要領等に関する相談の他、交通誘導警備現場における警備員の言動に関する苦情等 12 件を受理し、適正に処理した。

7 警備技術等に関する調査研究及び教育関係図書等の紹介・斡旋

警備用品を取り扱う賛助会員の参加協力を得て、警備員指導教育責任者研修会や「警備の日」における「警備の仕事フェア」などの機会を捉え、最新制服のファッションショーや最新警備用品の展示説明会を開催し、導入への啓発支援を行った他、各種教育・講習に係る教育関係図書・DVD等を積極的に斡旋し、警備員の資質向上と業界の信頼醸成を図った。

8 地域安全、交通安全、災害対策等の社会貢献活動の推進

(1) 愛知県警察との「安全・安心なまちづくりの推進に関する協定」締結に伴う活動

ア 防犯パトロール出発式

愛知県警察との「安全・安心なまちづくりの推進に関する協定」締結に伴い、6月12日(水)、愛知県中警察署において、防犯パトロール出発式を開催した。出発式には、協会会員会社10社12台24名が参加、愛知県警察本部生活安全部長、同地域部長、中警察署長が臨席され、会長の号令により、中警察署のパトカーとともに出発、名古屋市内を中心とした防犯パトロールを実施した。

イ 連続ひったくり事件の警戒等活動の実施

協定に基づき、7月から8月にかけて名古屋市中区内を中心として連続発生したひったくり事件について、愛知県警察からの事件概要等の情報提

供に基づき会員各社に情報提供を行い、業務を通じての防犯パトロール活動を実施した。

ウ 児童生徒等見守りネットワーク（愛知県教育委員会）に基づく情報提供
令和6年度中、愛知県警察本部及び愛知県教育委員会からの情報提供を受けて、関係会員会社に対し、4件の情報提供を行った。

(2) 愛知県警察本部に対する防犯啓発物品等の寄贈

依然として被害発生が後を絶たない特殊詐欺、侵入盗、自動車盗等の各種犯罪に対応した各種防犯活動に資するため、社会貢献活動の一環として、令和6年10月15日（火）、愛知県警察本部生活安全部に対して、iPad 3台、デジタルビデオカメラ1台、広報啓発物品を寄贈した。

(3) 特殊詐欺捜査協力報奨金制度

令和3年7月から運用を開始した当協会等4団体で構成する「愛知県特殊詐欺撲滅プロジェクトチーム」による「特殊詐欺捜査協力報奨金制度」では、令和6年度中24件の制度適用（だまされたふり作戦による犯人が検挙された際の協力者への報奨金贈呈）がなされた。

(4) 安全なまちづくり県民運動等への参画

愛知県安全なまちづくり推進協議会委員及び名古屋市交通・生活安全市民会議委員として、「春の安全なまちづくり県民運動推進キャンペーン（令和6年4月15日）」や「年末の安全なまちづくり県民運動における特別啓発活動（令和6年12月13日）」等に専務理事以下職員が参加するなど、愛知県や名古屋市が実施する各種行事・啓発活動に積極的に参加し、県民の犯罪抑止意識の醸成に寄与した。

(5) 交通事故防止などへの啓発活動

会員各社の警備員、従業員の交通安全に寄与するため、9月23日（月）から同年12月31日（火）までの100日間、18チーム（1チーム5名で構成）が参加し、「無事故・無違反チャレンジ・ファイナル100日ラリー」を実施し、交通事故防止、交通関係法令遵守の醸成を図った結果、12チームが無事故・無違反を達成した。

(6) 暴力団等反社会的勢力排除活動

ア 愛知県警備業暴力団等反社会的勢力排除対策協議会役員総会の開催
開催日 令和6年9月30日（月）

開催場所 当協会研修室

参加者 会長以下 22 名

来賓 同協議会顧問

愛知県警察本部刑事部組織犯罪対策局捜査第四課

暴力団対策室長 横山 利行 氏

(公財) 愛知県暴力追放運動推進センター

専務理事 舘 喜代孝 氏

・ 議題 「令和 5 年度事業報告、令和 6 年度の事業計画 (案)」

・ 講話

愛知県警察本部刑事部組織犯罪対策局捜査第四課

暴力団対策室 神谷 宗孝 氏

演題「暴力団等の現状と対策」

イ 暴力排除団体連絡会会議等への参加

令和 6 年 7 月 4 日 (木) Niterra 日本特殊陶業市民会館において開催された「2024 年度暴力追放セミナー」、同年 7 月 30 日 (火) ウィルあいちにおいて開催された「令和 6 年度暴力追放推進委員研修会」、同年 12 月 10 日 (火) KKR ホテル名古屋において開催された「令和 6 年度愛知県暴力排除団体連絡会会議」に事務局職員が参加し、相互の連携と更なる暴排意識の高揚に資した。

ウ 暴追あいちの活用

(公財) 愛知県暴力追放運動推進センターから発信される「暴追あいち」を当協会ホームページの会員用ページに掲載し、暴力団等の反社会的勢力の排除を会員に周知徹底した。

(7) 大規模災害発生時等における迅速的確な対応に向けた諸対策の推進

ア 「災害時における地域安全の確保等に係る警備業務の実施に関する協定」の締結

当協会では平成 9 年 5 月 16 日、愛知県警察本部長との間で「災害時における交通の確保等の業務に関する協定」を締結しているが、愛知県では南海トラフ地震をはじめとした大規模災害の発生が危惧されており、それらへの備えが求められていることから、愛知県知事との間で新たな協定を締結し、相互の連携を強化し、より幅広い協力を可能とするため、令和 7 年

3月10日（月）、愛知県公館において、大村秀章愛知県知事と小塚喜城会長との間で、新協定を締結した。

イ 令和6年度愛知県・静岡県国民保護共同実動・凶上訓練への参加

令和7年2月13日、愛知県で初となる武力攻撃予測事態を想定した地域住民域外避難訓練に専務理事以下で参加し、国民保護事態においても、警備業が期待され一定の役割を果たすこととなることが再確認された。

ウ 中部防災推進ネットワークへの参画

令和3年から参画した「中部防災推進ネットワーク」について、令和6年度末までに23回の勉強会に参加し、昨年1月1日発生の令和6年能登半島地震における被災状況や支援状況の他、中部における防災に関する各種問題点等について参画団体と情報共有し、当協会における防災対策と災害支援活動に反映した。

エ 総合防災訓練、緊急交通路確保訓練

令和6年9月1日（日）開催予定の「令和6年度愛知県・阿久比町総合防災訓練」及び翌2日（月）開催予定の「災害時における緊急交通路確保訓練（愛知県警察本部主催）」に各支部の隊員等が参加予定であったが、台風10号の影響により、両訓練ともに中止となった。

（8）犯罪被害者支援活動

（公社）被害者サポートセンターあいち賛助会員として、ホンデリング活動に取り組む他、令和6年6月には、協会事務所入口に売り上げの一部が犯罪被害者支援のため寄附される飲料水自動販売機を設置するなど、犯罪被害者支援に係る取組みを強化した。

9 本会の目的を達成するために必要なその他の事業

（1）警備員不足への対応

県内ハローワークが開催した就職セミナー等に17回参加した他、就職促進ポスターの作成配付、「警備のしごとフェア」の開催、防衛省自衛隊愛知地方協力本部名古屋地域援護センターとの意見交換及び退官予定者向け就職説明会への参加、協会ホームページでの動画配信等を通じ、警備の仕事の魅力を発信し、人材不足解消につながる諸対策を推進した。

（2）個人情報の適正な取扱い

認定個人情報保護団体である全警協と連携し、個人情報の適正な取扱いに努めた。

(3) 会員証の発行

警備業法の一部改正（令和6年4月1日施行）に伴い、「認定証」が廃止となり、警備業者には「標識」を作成し、主たる営業所に掲示するとともにウェブサイトへの掲載（一部除外あり）が義務付けられたことにより、会員証の発行を望む意見が出されたことから、総務委員会において検討の上、令和7年1月1日付で会員証を発行した。

(4) 協会への加入促進と認定証更新案内の実施

協会会員のメリット等を積極的に発信し加入促進を図った結果、年度内の入会19社、退会13社となり、年度末現在の正会員数は524社となった。

また、認定証の更新申請忘れが発生しないよう、更新時期の会員に対して引き続き認定更新案内の通知を行っている。

(5) 愛知県証紙、諸用紙及び教育関係書籍の斡旋・販売、「警備業者賠償責任保険団体制度」の周知・加入促進

各種申請・届出に必要な証紙、警備業務に係る教育関係書籍を希望者に対し斡旋・販売するとともに、届出に必要な各種様式をホームページ内の会員専用ページに掲載し届出に誤りのないよう周知した。

また、三井住友海上火災保険㈱が制度幹事保険会社となり全警協が令和4年6月から運用を開始した警備業者賠償責任保険団体制度（ガードくん賠償責任保険）について、様々な機会を通じて積極的な周知・加入促進に努めた。

(6) 「愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会組織委員会」への協力

2026（令和8）年9月～10月、開催予定の「愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会」における警備業務面での支援のため、令和5年4月から当協会職員1名を組織委員会に派遣、令和6年4月から更に1名派遣し、同委員会への更なる協力を図るとともに、必要な情報交換に努めた。

(7) 中部地区各警備業協会との連携

中部地区警備業協会連合会事務局担当県として、地区内各県協会及び全警協との連絡調整・情報共有に努めた。

ア 定時総会及び春季会長等会議

開催日 令和6年6月10日（月）

開催場所 アイリス愛知（愛知県名古屋市）

出席者 （一社）全国警備業協会専務理事 黒木 慶英 他1名
中部地区内各県警備業協会会長、専務理事、当協会副会長等
計20名

主な議題

「令和5年度事業報告及び決算報告」

「令和6年度事業計画及び収支予算（案）」

討議事項

「能登半島地震を教訓として各県警備業協会で行った事項及び問題点、今後取り組むべき課題について」

イ 秋季会長等会議

開催日 令和6年10月28日（月）

開催場所 グランディア芳泉（福井県あわら市）

出席者 （一社）全国警備業協会会長 村井 豪
同専務理事 黒木 慶英 他1名
中部地区内各県警備業協会会長、同専務理事、福井県警備業協会副会長等 計20名

主な議題

「労働力確保に向けた女性及び外国人等の活用について」

ウ 特別講習担当者研修

開催日 令和6年12月12日（木）

開催場所 ガーデンホテル金沢（石川県金沢市）

出席者 （一社）全国警備業協会常務理事 楯 悦男他担当職員、（一社）警備員特別講習事業センター担当職員・考査員、中部地区内各県警備業協会専務理事・特別講習事務担当者・主任講師等
計27名

主な議題

「特別講習の運営及びデジタル化について」

エ 事務担当者研修

開催日 令和6年12月13日（金）

開催場所 ガーデンホテル金沢（石川県金沢市）

出席者 （一社）全国警備業協会常務理事 楯 悦男他担当職員、（一社）警備員特別講習事業センター担当職員、中部地区内各県警備業協会専務理事・事務担当者等 計 16 名

主な議題

「各県警備業協会が抱える当面の課題について」

（8）賛助会員による警備用品などの紹介

「警備員指導教育責任者研修会」及び「新年交礼会」等において、賛助会員による新作の警備員制服のファッションショー、全警協「警備業者賠償責任保険団体制度（ガードくん賠償責任保険）」の紹介など、前年度好評であった企画を継続し、賛助会員の事業に寄与した。

（9）事務の合理化、効率化

各職員の事務負担を精査し、事務分掌を見直すとともに、法定受託教育申込みのシステム化等デジタル化を推進し、事務の合理化・効率化を図った。

（10）慶弔・傷病に対する表意

会員等の慶弔・傷病事案について、基準等に従い、慶弔の表意及び見舞を行った。

（11）各種親睦行事の開催

令和7年1月20日（月）、ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋7階「ザ・グランコート」において、愛知労働局労働基準部安全課長、愛知県警察本部生活安全部長、愛知県中警察署長他来賓のご臨席を得て、会員等240名が参加し、「新年交礼会」を開催、会員相互等の親睦を図った。

また、ゴルフ部会は、年度中コンペを5回開催、多くの部会員が参加し、グリーン上での親睦を図った。